

平成28年度 第1回 鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会 会議録

日 時	平成28年10月28日（金）10時～11時20分
場 所	鎌ヶ谷市役所6階 第1・2委員会室
出席委員 （敬称略）	菅野勝利委員、松林百合子委員、島野真実委員、足立達昭委員、 駒林康一委員、久能剛一委員、岩津由雄委員、秋山秀一委員、 関浩委員、篠塚紀子委員、榎本美紅委員
欠席委員	片桐博子委員、小島邦夫委員、倉島哲也委員
市出席者	皆川総務企画部長、谷口総務企画部参事、小高市民生活部参事、 斉藤健康福祉部参事、若泉都市建設部次長、笠井生涯学習部参事、 鈴木消防本部参事、狩谷企画財政課長
事務局	大塚企画政策室長、築地企画政策室長補佐、小暮主任主事
記 録	小暮
傍 聴 者	なし

1 委嘱状交付

人事異動に伴い、委員の変更があった3名の委員（島野委員、岩津委員、関委員）に対し、皆川総務企画部長から委嘱状を交付した。

※欠席者である小島委員については、事務局から別途郵送にて委嘱状を送付した。

2 議題

（1）会議録署名人の選出について

会議録署名人は、委員名簿順として、岩津委員、関委員と決定した。

（2）「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る効果・検証について

①平成27年度の実績結果について

（事務局）

資料1を基に、説明する。

（H委員）

「平成27年度の実績結果について」であるが、市では資料1の3ページに成果指標の進捗状況を表にしているほか、資料2では、事業ごとの実績状況を一覧にまとめており、皆さんもご覧になったかと思う。

そこで、まず、①「平成27年度の実績結果について」、資料をご覧になった上で、何かご意見、ご質問、ご提案などがあればお願いしたい。

無ければ、初めに質問をさせていただく。

資料1の3ページの下段に記載の「(イ) 具体的事業の重要業績評価指標に係る進

捗状況」であるが、97の指標がある中、昨年度（平成27年度）と比較して、今年度は上昇した指標が半分を超えており、1年目として順調に推移しているかと思う。そこで、昨年度特に力を入れ、指標が上昇した事業について、いくつかご紹介いただければと思うが、いかがか。

（事務局）

◆基本目標1

・「NO.1 都市のブランド化」

⇒市のコンセプトやキャッチコピーを定め、ブランドサイトを設置し、ブランドWEB閲覧件数が、0件から1,451件に伸びた。

・「NO.4 観光の振興」

⇒市長のトップセールスや、観光回遊宿泊券事業を実施し、観光入込客数が、25万人から27万人に伸びた。

◆基本目標2

・「NO.14 保育園等の子育て支援の推進」

⇒国の交付金を使い、保育園で子育てイベントを実施、遊具の更新を行い、地域の子育て支援事業参加人数が、3,685人から4,922人に伸びた。

◆基本目標3

・「NO.36 起業の促進」

⇒創業事業者支援事業として、新規に起業する法人に補助したことで、支援事業申請件数が、5件となった。

・「NO.38 店舗情報の活用促進」

⇒商店街の空き店舗を活用した開店の店舗改装費の補助を行ったことで、改装した店舗数は、7軒となった。

◆基本目標4

・「NO.59 新京成線連続立体交差事業」

⇒積極的に工事を推進し、新京成線連続立体交差事業進捗率が、55.4パーセントから84パーセントに伸びた。

（H委員）

資料2では、施策ごとに平成27年度の実績がまとめられているが、例えばNO.10「北海道日本ハムファイターズとの連携強化事業」や、NO.11「札幌や名護観光イベント事業」では、鎌ヶ谷市の地域資源である日本ハムファイターズと協力して取り組んでいる事業であり、今後もぜひ充実していければと思うが、D委員はいかがか。

（D委員）

日本ハムファイターズでは、市や商工会等とコミュニケーションを取ることで、成果が目に見える形となってきた。

例えば、市の特産物である梨については、市と協力し、東京ドームや札幌ドームにおいて、プロモーション活動を行い、PRすることができた。

また、子育て支援の活動については、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムでフェスタを開催し、市内のお母さん方が集まり、出店していただいた。

このように小さな活動を積み重ねることで、少しずつまちの魅力向上につながっていければと思う。

(H委員)

日本ハムファイターズは、2軍キャンプ地が沖縄県名護市にある。

私が沖縄県のラジオ番組に出演し、鎌ヶ谷市のことをPRした時、日本ハムファイターズには、大変お世話になった。

今後も、日本ハムファイターズと協力し合い、沖縄県や北海道など地域間の連携を強化できると良い。

一方で、昨年度は、国からの交付金を積極的に活用し、市で子育て支援に係る事業を多く実施した結果、総合戦略の子育てに係る指標は、概ね上昇し、市の待機児童も0を達成するなど、子育て世代にやさしい街につながっている印象がある。

これについて、K委員は、いかがか。

(K委員)

私は市民団体の代表として、日本ハムファイターズが実施している、子育てイベントに参加させていただいた。

このような子育てイベントは、数年前と比べ、とても行きやすくなったと感じている。授乳室の設置や子どものトイレなど、まだまだ改善するところはあるかと思う。

その中で、市に質問であるが、資料2の6ページ、「病児保育整備事業」で白井市と共同で実施することで調整しているとのことであるが、白井市のどこの病院なのか、教えていただきたい。

(事務局)

病児保育については、白井市の聖仁会病院で、平成28年12月から実施することで調整している。

(K委員)

病児保育については、働いているお母さん方には、必要な制度であるが、大掛かりな改修が必要であり、実施は難しいと思っていた。

白井市との共同ではあるが、実施に向け一歩前進しており、今後も期待できると感じている。

(H委員)

実施することで、初めて見える課題もあるので、ぜひ、市の取組みについて期待したいと思う。

さて、先ほど、梨の話が出てきたが、市の特産物である梨の販売促進については、市でも地方創生を進める中で、力を入れ、北海道や沖縄へも販路の拡大を進めている。

一方で梨農家の人数は、今後大きく増えることはなく、なかなか難しい状況であるかと思う。

昨年度(平成27年度)の実績を見ると、資料2のNO.39では、認定農業者数は

変わらず、維持を保っているところだが、このことについて、E委員はいかがか。

(E委員)

農業については、松戸市では、都市計画が進み、認定農業者数が減少しているところだが、鎌ヶ谷市では、後継者がまだ沢山いる状況である。

10年前と比べ、大根や人参などの農家は減少しているが、梨農家は、ほぼ横ばいの状況である。

鎌ヶ谷市の梨はとても美味しいことから、JAと行政が協力し、認定農業者数を増やし、他市に負けない梨を提供していきたい。

②今後の市の地方創生の取組みについて

(H委員)

それでは、続いて、②今後の市の地方創生の取組みについて移りたいと思う。

先程、事務局からも説明があったが、市では総合戦略の2年目として、昨年度の課題等を踏まえながら、事業を実施しているかと思う。

そこで、本日はこれらの事業を含め、今後市の地方創生の取組みについて、委員の皆さんから意見を伺いたいと思う。

今年度、市が実施している総合戦略の取組みは、資料2の②に記載されているが、これをご覧になった上での意見や、これに限らず、現在考えている地方創生の取組みなど、ご意見やご提案等があればお願いしたい。

(A委員)

資料2の2ページ、NO.4「観光ビジョン推進事業」の概要で、“観光回遊宿泊券事業”との記載があるが、これはどのような事業か。

(事務局)

昨年度、国の交付金を活用した事業であり、市に泊まっていただく優待券をコンビニで購入してもらい、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム、梨、大仏などを回遊してもらう事業である。

(A委員)

考えることとして3点ある。

①自治会関連として、鎌ヶ谷市へ転入してくる人には、宅建協会や市民課でチラシを配布してもらうなど対応しているところだが、現在市に住んでいる人に、どうやって自治会に加入してもらうかが重要である。

この問題については、自治会連合協議会だけでは力不足であり、市にも協力していただくことが必要である。今、自治会は、約3分の2の加入率となっているが、この数値が上がることで、総合戦略に掲げる他の指標も上昇していくのではないかと思うので、是非とも、協力をお願いしたい。

②今月(平成28年10月)実施した市民まつりでは、約7万人が市へ来訪した大きなイベントである。

市では、昨年度コンセプトを定め、盛り上げていると思うが、鎌ヶ谷市民まつりなど、鎌ヶ谷の魅力をどんどん発信して欲しい。

③資料2の課題の書き方であるが、「～を検討していく必要がある」のような表現が多くみられるが、「～を検討していく」の表現の方が良い。

「～していく必要がある」だと、やるのか、やらないのかの意味が薄れてしまうので、今後検討して欲しい。

(事務局)

表現については、今後検討していきたい。

(H委員)

新京成線については、現在、高架化が着々と進められ、新鎌ヶ谷駅や初富駅では駅舎が出来るなど、目に見える形で事業が進んでいる。

この高架化が完成すれば、踏切が解消されることで、車の渋滞も減り、市の街づくりも大きく変わってくるかと思う。

これからの市の取組みとして重要な事業であるかと思うが、C委員はいかがか。

(C委員)

新京成線連続立体交差事業の進捗率は88パーセントまで上昇し、完成が近づいている。

残り10パーセントちょっとであるので、県と市と協力しながら、事業を進めていきたいと思う。

(E委員)

新京成の関係で、少し前のデータであるが、各駅の乗降者を見ると北初富駅は、24駅中24位で最下位であった。

また、23位は初富駅、20位がくぬぎ山駅、11位が鎌ヶ谷大仏駅、7位が新鎌ヶ谷駅であった。

今後、新京成が高架化することで人口も増加すると考えられるので、市内の駅の乗降者数が増えていくと良い。

(H委員)

鉄道の乗降者数は、始発の駅から離れるほど減少していく。

そう考えれば、新鎌ヶ谷駅などは頑張っていると思う。

新京成線が高架化することで上位に上がっていくことが、期待できる。

(F委員)

確認であるが、資料2の9ページ、NO.26「妊産婦・支援ニーズの高い妊産婦への支援強化」の平成31年度の目標は、89.9パーセントと記載されているが、90パーセントではないか。

⇒90パーセントに修正する。

また、「プレママ教室及びこんにちは赤ちゃん訪問事業」の平成27年度実績の中で、“4か月までの児について”と記載されているが、児とは一般的に使われる言葉か。

⇒会議後、確認したところ、表現は間違いではないが、一般的な言葉ではないため、乳児に変更する。

市のPR活動として、広報活動はどの業種でも課題となっているかと思う。

市のツイッターのフォロワー数を見ると、2,000人であり、なかなか市へ誘引することは難しい。

市では、今後どのような方法で、誘引していくことを考えているのか、教えて欲しい。

(事務局)

市では情報発信の強化に努めていくこととしており、例えば、資料2の4ページ、NO.12の「市ホームページリニューアル事業」として、今後、ウェブアクセシビリティの向上を図っていくなど、魅力あるホームページを作成していきたいと考えている。

(F委員)

良いホームページを作るだけでなく、どのように市へ誘引していくかが重要である。例えば、検索で「梨」と打ったら、鎌ヶ谷市が上位にヒットするなど、市へ呼び込む施策を進めていけると良い。

(G委員)

地方創生については、国を挙げて取り組んでいる。

確認したいのが、本日配布された効果・検証の資料は、国の統一的な様式なのか。

また、今回検証した結果は、国へ報告するのか。

本日出た意見は、どのように反映させていくのか。

(事務局)

資料は、統一的なものではなく、市独自の様式である。

効果・検証については、全国的に総合戦略の進行管理を実施することとなっており、その結果について、国へ報告していく。

意見の反映については、本日いただいた意見を、来年度予算や実施計画に活かしていくことを考えている。

(B委員)

商工会の女性部は、奥様方が集まっているが、年々高齢化している。

コンビニも進出しており、家業を継ぐ人が少なく、空き店舗も増えてきた。

その中で、商工会では、梨を使った焼肉のタレを作ってきた。

明日は、産業フェスティバルがあり、毎年焼きそばなど販売しているが、仕入れについては、市内の野菜を使っている。

商店の活性化は、色々実施しているが、なかなか難しい状況である。

YOSAKOIかまがやについては、現在庁舎の免震工事で実施することができないが、免震工事完了後、また開催していきたいので、ぜひ貸していただければと思う。

(I委員)

鎌ケ谷市に7月から赴任したが、それ以前は、北総地区郡部におり、毎年人口が減少していた。その中で、鎌ケ谷市に来た時、鉄道が3つあり、成田空港や羽田空港にも行くことができる大変便利な市であると感じた。弊社でも、地方創生を進めており、企業誘致を含め、市の発展に寄与していきたい。

企業誘致については、商工振興課で進めているかと思うが、用途地域の関係で、なかなか厳しい。鎌ケ谷市に出店したいという声は聴くが、道路事情の問題と用途地域の問題がネックとなっている。ここが改善できれば、武蔵小杉のような街になると思う。また、雇用の確保にもつながる。

鎌ケ谷市は、農業だけでなく、日本ハムファイターズなど観光資源もある。

今後も、まちの発展のため、市と協力していきたいと思う。

(H委員)

用途地域については、設定した時と変わってきている。いただいたご意見については、都市計画審議会の中で参考とさせていただきたい。

(J委員)

基本目標1の成果指標は、人口の社会増加数を掲げているが、例えば、市へ転入・転出した人へのアンケートは実施しているのか。

(事務局)

転入・転出者アンケートについては、昨年度、総合戦略を策定する際に実施したところであり、その結果については、総合戦略に掲載している。

(J委員)

アンケートについては、毎年実施しないのか。

(事務局)

市では、市民意識調査として、5年に1回実施しており、直近では、平成25年度に実施したところであり、次は平成30年度を予定している。

現在、昨年度のようなアンケートを毎年実施することは考えていない。

(J委員)

総合戦略は平成31年度までの計画であり、毎年社会増となっていくことを目標に掲げていると思う。

その中で、転入・転出した理由を知ることで、今後の施策の推進に結び付いていくのではないかと考える。毎年実施しなくても、短い間隔でアンケートを実施しても良いと思うがいかがか。

(事務局)

市では、昨年度実施したアンケート結果に基づき作成した総合戦略の各施策の推進に努めてまいりたいと考えているので、来年度の実施は考えていないところであるが、貴重なご意見として承る。

(J委員)

資料2の7ページ、「団体の婚活イベント支援事業」で、今年度、実施に向け農業団体との協議を行うとのことであるが、いつ開催することを考えているのか。

(事務局)

婚活イベントについては、現在、内部で調整中である。

(J委員)

農業団体とは、梨農家を想定しているのか。

(事務局)

梨農家だけでなく、農家全体を考えているところである。

(J委員)

知名度アップには、イベントを実施し、新聞に掲載することで、PRにつながると思うので、ぜひ今後とも進めていただきたい。

(3) その他

(委員)

最後に事務局から何かあるか。

(事務局)

委員の皆さまからいただきましたご意見については、今後検討させていただき、これからの総合戦略の取組みの中で、活かしてまいりたい。

また、来年度についても、本日と同様に、事業の振り返りを行っていくことを考えており、審議会を開催する予定であるので、今後ともよろしく願いしたい。

(委員)

それでは、ほかに意見が無ければ、本日の会議はこれで終了とする。

以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成28年12月13日

氏名

岩津 由雄

氏名

関 浩
